

草加で楽しく快適に暮らそう



そうせいじん 創刊準備号

本屋さんへ 行こう！

草加市の書店めぐり

古本屋さん・図書館へも行こう

●草加の元気人！●

草加太鼓クラブ

藤家美栄子さん

●草加を知ろう●

草加イベントレポート

そうか事典

草加のスペック：人口

本屋さんの魅力は？それはもちろん、
たくさんのお本や雑誌が並んでいるところ、
それを手にとって見たり読んだりできるところ、
だろう。「本がたくさんある空間」は、
そこにいるだけで自分の中が豊かになる気がしたものだった。
そんな本屋さんが今、どんどん減っている。
本屋さんへ行って本を買う人が減ってしまったからだ。
かつて知識や情報を得るために大きな役割を果たした本や雑誌は、
その役割をインターネットに

奪われてしまった。本自体も、本屋さんで購入するより、
ネットショッピングを使う方が目的の本が手に入りやすい場合も多い。
でも、本屋さんには、ネットに繋がった狭い窓から得る知識や情報に無いものがある。
それは何だろう。棚にぎっしり詰まった、
視界いっぱい広がる本。そこから静かに放射される「何か」を感じてみよう。

本屋さんへ行こう！

草加には本屋さんが少ない。
理由はもちろん、大都市東京の隣にあるからだ。都内の会社や学校のそばにある大型書店の方が便利だし「本屋さんの魅力」も享受できる。

しかし問題がある。「本が好き」になるためには、小さいころから本がたくさんあるところに行つて、さまざまな本を「体感」する機会があった方がいい。しかし、小学生ぐらいまでの子どもの行動範囲はほとんどが市内だろう。となると「近くの本屋さん」がとても重要になってくる。本屋さんはすぐに行ける場所に必要なのだ。

本屋さんの魅力3ポイント

●一覧性に優れている

新刊やベストセラーが目に入るところにずらりと並び、今どんな本が話題になっているのかがパッと見てわかる。棚には雑誌や書籍が並んでおり、一度に目に入る情報量は圧倒的で、パソコン・スマホ画面とは比較にならない。

●目的以外の書籍や雑誌が目に入る

一覧性に優れているということは、周辺に並んでいる目的以外の書籍や雑誌も目に入りやすいということ。そこから意外な本に出逢うこともある。

●モノとしての「本」を体感できる

本が持っているモノとしての質感—大きさ、厚み、手触り—に触れることができる。本が「たくさんの知識や情報や体験が詰まった別の時間と空間」への扉だとすれば、その扉に全身が包まれる感覚を体験できる。



コミックと児童書の品揃えは草加随一。丁寧なポップ（広告）も一見の価値あり。



文庫本コーナーの一角には、年配の方を意識した時代物の作品が並んでいる。

草加市民のみならず、ぜひ近所の本屋さんへ行こう！

人口10万人あたりの書店数

草加市：おおよそ8軒
(タウンページによる書店数(20軒) / 2012年
1月1日現在の人口約24万5000人より)
全国平均：11.47店
・県別の統計(2010年)
1位：福井県：19.55店
2位：徳島県：19.27店
.....
46位：埼玉県：7.50店
47位：神奈川県：6.98店
引用元)
<http://todo-ran.com/t/kiji/13225>
新・都道府県別当県とランキングで見る県民性「とどラン」より

高砂ブックス 草加店

イチオシは地下の児童書コーナー

「高砂ブックス」は草加駅東口前にある草加の代表的な本屋さんだ。店長の石山さんにお話を伺った。

30年ほど前、自分で本屋をやりたいとこの業界に入った。「本屋は本が好きじゃないとやってられないです。3K(※だし)と笑う。児童書が大好きで、今も一番力を入れているという。売り上げが悪く売り場面積を減らそうという話が出たときも、いい本を置いていればそれをわかってくれる人がいると説得して「オーナーに理解していただきました」。この規模の店舗にしては広く、売り上げを伸ばしているそうだ。

来店するお客さんは、年配の方がとても多いという。児童書もプレゼント需要が多い。

お客様にいい本を紹介したい

書店としての指針を伺うと、「いい本をいかに大事にお客様に紹介していくかということですね」。今、本離れと言われているが、出版点数は膨大だ。そして、一般客は話題になっているベストセラーや映像化作品を求

め、版元(出版社)の営業も当然だが売りたい本を薦めてくるため、それ以外の「いい本」は埋もれがち。だから営業の人には「一覧を出してもらってるんですよ。何が出版されているのかをちゃんと把握し、売れる本だけではなく「いい本」を掘り起こして棚に並べたい。「売れないと自己満足になってしまつ、そのさじ加減が難しいですね。もっと勉強しないと」。「いい本」がいつも置いてあれば、「高砂ブックスでコーナー作ってるんだから間違いない」と信用が得られる。また、週のうち日・祝祭日、週末に売り上げが上がる本屋にしたいという。駅前広場に面し、目の前にバス停がある高砂ブックスは、平日に多いのは「ついで客」だが、休日は目的を持って来てくれる。「ヒマだから高砂ブックスへいってみようか、と思ってくれば一番幸せ」。

本屋さんはちゃんと続いていく

ネット通販や電子書籍の利用が増えている現在、書店が置かれている状況は厳しい。「でも、書店は大丈夫だと思えますよ」。圧倒的な一覧性と、実際に手にとることができるという魅力が書店にはある。

「いくつまでできるかわからないけれど、好きだからね」。一つ一つの棚にこめられている、来た人に「いい本」に出逢って欲しいと願う「本屋魂」を感じて欲しい。

住所：草加市高砂2丁目9-2

電話：048-927-1355

営業時間：平日・土曜 9:30～21:30
日曜・祝日 10:00～21:00

東武ブックス 松原店

駅ナカとは思えない奥の広さ

本は本屋さんを歩いて選んで

東武ブックス松原店は、松原団地駅の駅ナカにある。平日は朝7時から夜11時まで営業しており、通勤・通学行き帰りに気軽に寄ることができる。入ってまず一番驚くのは、入り口からは想像のできない奥の広さ。駅ナカと聞くと売れ筋の本と雑誌だけというイメージがあるが、街の本屋さん並の広さがあり、コミックも雑誌も専門書も揃っている。獨協大学も近く、駅を利用するビジネスマンと学生がメインのお客様かと思いきや、「すべての年代の方がいらしています」。草加市民ならご存じの通り、公共施設である「草加市立中央図書館」「草加市文化会館」の最寄り駅でもあるからだろう。

店長の近藤さんは松原店に赴任して1年。コミック担当でもある。品揃えや棚の構成は今売れ行きを見ながら試行錯誤しているとのこと。そこで、電子本の話になった。材料を入力するだけで該当の料理一覧が表示された料理の電子本にはショックを受けた。これはかなわない。しかし、本には内容だけではなく、紙質やデザインなどの装丁、手触りやにおいを含むモノとしての魅力がある。「本屋さんを歩いて、見て、考えて、さわって、買って下さい」。実際の本を手にとって、読んで、という気持ちを感じて欲しいと近藤さん。松原団地駅に降りたら、入り口に惑わされず寄ってみて欲しい。



店に入ったすぐの右側は今、ワンピースの壁！



東武戦沿線ならではのスカイツリー本コーナー



丁寧な手書きポップが並ぶ平台。書店員さんの意気込みが伝わる。



入り口だけを見ると狭く思えるが、ちょっと奥に入ると広い売り場にびっくり。

住所：草加市松原 1-1-1

電話：048-944-5177

営業時間：平日・土曜 7:00～23:00
日曜・祝日 11:00～21:00

古本市場 草加店

関西では誰もが知る古書店

「古本市場」は岡山生まれの古書店だ。草加店は松並木沿い、松原団地駅から歩いて数分ほどの便利な場所にある。「古本市場」の中でも広い方という本の売り場は2階。階段の壁面スペースにも、映像化・人気・新刊コミックがびっしり並び、「ワンピース」「宇宙兄弟」など話題の本は網羅されている。階段を上がってすぐの平台と棚には、古書店ならではの「全巻セット」がどんと並び、けっこう高額になるが、年末年始にはかなり出るそう。

高い棚まで本がびっしり

「古本市場」で特長的なのは、天井までありそうな高い棚と広い通路だ。コミックが全体の70%ほどを占め、立ち読み自由なので、平日でも中高生を中心に訪れる人がひっきりなし。ただ、これからはもっと高めの年齢の人に来てもらいたいとのこと。そのために文



書籍担当の美人店員内木さん。ともかく棚に隙間を作らないことを心がけているそう。本好きの心をわかっているらしい。



一見本棚のように見えるが、すべて奥行きがある全巻セット。



コミックが隙間無く並ぶ高い棚。「105円コーナー増やしましたのでぜひどうぞ！」

絵本や児童書も豊富。読む期間が短いので、古本需要が多いとのこと。



庫や文芸書などの一般書を充実させ、時代小説コーナーも作った。窓際にある絵本や児童書のコーナーも充実していて、なかなかいい本がたくさんあった。古書店の魅力は「知らない本と出会えること」と内木さん。新刊本が膨大にある今、通常の書店では、棚から消えていく本も相当なものだ。特にコミックは巻数も多く、話題作や人気作家の作品以外はなかなか見つからない。だが、ここにはそんなコミックもしっかりと棚に並んでいる。親子でたずねれば、話も弾むかもしれない。

住所：草加市栄町 3-9-41

電話：048-935-8633

営業時間：10:00～24:00

草加市立中央図書館

地域一番の蔵書数

松原団地駅前にあって、図書の貸し出しだけでなく勉強の場としても利用されている。松原団地駅前にある草加市立中央図書館ができたのは平成12年4月。3階が一般向け、4階が児童向けのスペースとなっている。取材した日は平日の午後2時だったが、たくさんの人が静かに本を読んでいた。中央図書館は近隣地域では一番広く、蔵書も約60万冊と多い。近隣地区との提携により、草加市以外の登録者も多いとのこと。ホームページからの検索や予約・リクエストのほか、公民館や地域開放型図書室(小学校)などとネットワークを組み、どこでも貸し借りができるしくみ

を作っているのもうれしい。

利用者は高齢者と幼児、児童が多い。貸出数の年齢別統計で見てもそれは歴然だ。学校に図書室(図書館)がある学生はいいとして、20才代が少ないのは仕事で忙しいためだろう。地域の活動として、寄席、映画の上映会などの催しも行っているが、もっとも力を入れているのは読み聞かせ。ボランティアの方にも協力してもらって、週4日開催している。本好きな子どもがここから生まれてくると素敵だ。

調べ物は図書館で！

以前は調べ物といえば図書館だったが、今



雑誌のバックナンバーが読めるのもうれしい(上)。児童書コーナーの棚からは、ぬいぐるみが見下ろしている。

ブックス・コマツ

店主がたずむ「町の本屋さん」

「BOOKSコマツ」は、草加駅から少し離れたところにある。店主というより「店主」の雰囲気を持つ水永さんにお話を伺った。

開店は昭和60年(1985年)の7月末。直後に日航ジャンボ機墜落があり、写真週刊誌がよく売れたのを覚えている。一番賑やかだったのはバブルの頃。バブルがはじけた時でも売り上げはあまり変わらなかったが「ゆっくり売り上げは落ちていった」。町の書店は急激に減っており、このあたりだけで4店が閉店したのだという。定期購読も減り、配達もしているが少ない。「以前、小学1年生から中学3年生まで取ってくれた人が1人だけ居た

けれど、たいていは来なくなってしまう」。

店内は整理が行き届いて気持ちいい。「本が好きだからね」。多様な雑誌がきれいに並び、話題の単行本やコミックもひととおりちゃんと揃っている。「もっと専門的な本を揃えるようにすれば、固定客もついたかもしれないんだけど、売れている本や話題の本をつい入れてしまつ」と取次(本の問屋)の情報誌を見ながら話す。新刊本や雑誌は「取次」が書店の規模や売り上げなどを元に振り分けるため、小さい書店には思い通りに入荷しない。売り上げ無しであれば次の入荷が無くなることもあ



整然とならぶ雑誌、ムック類。話題の単行本もしっかり揃っている。



る。「取次にまかせておいたら雑誌の棚はすぐに空になりますよ」。

モノとしての「本」に触れる場、子どもを連れて気軽にに行ける近所の本屋さんとして、ずっと頑張っている心から願う。

住所：草加市氷川町 90-11
電話：048-927-1591
営業時間：平日・土曜 10:00～20:00
日曜・祝日 10:00～19:00

住所：草加市松原 1-1-9
電話：048-946-3000
FAX：048-944-3800
FAX：(リクエスト専用) 048-943-3696
休館日：火曜日(祝日の場合は開館)

草加をもっと知するために 「そうか事典」

草加にある公園や道、観光スポット、さまざまな行政サービス、団体など、草加にかかわる項目を網羅した事典があります。その名も「そうか事典」。

草加市の市政施行50周年記念誌として1994年に発行されたもので、草加市の歴史と展望を著した「あれから50年」との2部構成。社団法人日本広報協会が開催している全国広報コンクール2009(平成21)年の広報企画部門で入選しました。内容は、草加市公式ホームページ※で確認することができます。また、PDFファイルをダウンロードすることも可能です。草加をより詳しく知りたい方は是非ご覧下さい。



市役所情報コーナー、中央図書館、物産・観光情報センターで販売中。A4版 1500円
※草加市公式ホームページ
トップページ>組織一覧>市長室) 広報担当>50周年記念誌「あれから50年」：冊子版PDFファイル(1冊分)のダウンロードが可能。
「そうか事典」：PDFファイルは見開きごとにダウンロード可能。

草加市の本屋さん MAP



ベスト5 ここで食べられます！

グランプリ そうからあげ

インどり屋

草加市中根 3-22-29 ☎ 048-947-0278

営業時間：11:00～14:00
16:00～22:00

定休日：木曜日 新田駅店は水曜日定休
くだったおせんべいをまぶした美味しい
唐揚げ。日本からあげ協会主催からあげ
グランプリ第2回、第3回バラエティ部
門金賞受賞の美味しさ。上野のアメ横に
も出店しています。



準グランプリ めがでるぷりん

埼玉屋旅館

草加市高砂 1-10-13 ☎ 048-922-4141

毎週土曜日午前11時から、フロントにて
20個限定販売。前日16時までに注文を
受ければ、1個でも販売可能。こちらは
毎日OK。要望があれば宴会料理のデザー
トもプリンに差し替え可能だそう。



3位 小松菜麺の草加風ジャージャーメン

紫菜館

草加市高砂 1-6-29 ☎ 048-922-3860

営業時間：11:00～15:00
17:00～22:00

年中無休
本格中国四川料理のお店。



4位 草加小松菜チヂミ韓バーガー

太鼓判

草加市高砂 2-9-1 ☎ 048-927-6382

営業時間 11:00～23:00 (マルイ&ア
ウトレットに準ずる)

2011年に開催された第8回埼玉B級ご当
地グルメ王に輝き、注目を集めた韓流バー
ガー。4種類の味が楽しめるそうなので
ぜひ。



5位 そば屋のねぎトン天

松月庵

草加市谷塚町 1640-2 ☎ 048-922-3101

営業時間 11:00～15:00
17:00～20:00

定休日：火曜日
草加蕎麦商組合の提供。食べられるのは
現時点ではこのみ(5月10日現在)。
数に限りがあるそうなので確認してね。



とても楽しい。
ただ、少々出遅れたようであった。広
場の東端に居並ぶおのの店から始ま
る数十メートルの長い列。ほとんどの列
の最後尾にはプラカードを掲げた店のス
タッフが立っていた。プラカードには「一
時販売中止」と書かれている。「完売御礼」

ようやくありついたその「草加小松菜
焼きうどん」(*)は、鉄板で彩り豊富
な大量の野菜と肉をうどんといっしょに
炒めた料理。とてもおいしかったので、
大満足！ただ、結局食べる事ができた
のはこの一食だけだった。
大盛況ではあったが、主催者や出展

草加で開催されるイベントがますます
増えてきている。夏には「よさこいサン
バフェスティバル」が楽しみだ。
みんなの知恵を結集して、楽しくて新
しくて熱いイベントを打ち上げ、草加に
もっともっと大勢の人が集まるようにな
ってほしい。(じつに 彰)



3月25日(日)、綾瀬
川左岸広場にて「草加
グルメフェスタ」が開
催された。
私は、10時開会のとこ
ろ11時過ぎに現地に到
着。ものすごい人ごみ。
報道によれば3万5千
人もの人出という大盛
況。その5日前に行われ
た草加松原太鼓橋ロー
ドレス大会も、参加
者と応援の人でたいへ
んな賑わいだった。草
加に人が集まる光景は

と書かれたプラカードもどんどん増え始
めた。
なんとまだまだ販売している列を見つけ
て並んだ。天気も良かったし、会場の南
端に設けられたステージでフォークシン
ガーやロックバンドが音楽を披露する音
が聞こえてきたので、気持ちよく待つこ
とができた。



者たちには反省も
あったかもしれな
い。次の機会には
もっと潤沢な材料
と強力な生産態勢
準備して、訪れた人たちがすべてに料理を
味わってもらおうと決意したのではない
だろうか。
草加で開催されるイベントがますます
増えてきている。夏には「よさこいサン
バフェスティバル」が楽しみだ。



※小松菜焼きうどん：
創作ダイニング&バー FlapJack's (フラップジャックス)
草加市中央 2-7-11 ☎ 048-924-0123





た遊びの経験も積んでいないから、体幹ができていない。だからぞうきんがけを始めた。ぞうきんがけは体幹を作るのに一番ですから。」

親の居場所としての太鼓クラブ



毎週土曜日に草加小学校の体育館から響く太鼓の音。「草加太鼓クラブ」の主催者藤家さんに練習後お話を伺った。

太鼓クラブの設立は99年3月。PTAのあり方に疑問を持ち、親が子どものことを自由に話せる場所として作った。

「3年ですづれると思ったんですけど、地域のイベントや、老人のデイケア施設などに呼んでいただけるようになり、発表の場が増え、見た子たちが入りたいと言ってくるようになりました。」

太鼓のメリットは、伝統芸能が体験できること、身体をしつかり使うことだといふ。

「太鼓を叩き始めるときには「こっという姿勢でね」と教えるんですけど、その姿勢すらとれない子が多い。足の裏の感覚が無くて足の裏が地面にちゃんと着かず指が上がつてしまふんです。今の子どもたちはあまり歩いていないし、木に登るなど身体を使っ

今の教育では「考える」こと「学ぶ」ことを教えるのは難しい

藤家さんは主に特別支援教育の教員として20年間過ごし、現在は発達障害・知的障害児の生活、学習、療育支援に取り組みされている。ネットも積極的に活用し、ブログには子育てに関する話が並ぶ。出身は京都府の最北端 丹後半島。目の前に日本海を望む自然のまっただ中で育った。当時の奥丹後の学校教育は本にもなっており、教育に携わる人にはよく知られているとのこと。

「教科内容は今の子どもたちでまず考えられ、授業が多く、教員はまとめ役でした。」

「学ぶ楽しさ」がわからない子どもも多い。「私が小学生のときは、新しい教科書もらう度に、どんな勉強するんだろうと最初から最後まで見てました。でも、今の子どもはそれじゃないんですね。きれいなまま本棚へしまい、授業の時にここ開けてって言われて初めて開ける。小学校上がる前に「勉強」が満ちあふれてあきあきしてるから。」

早期教育にはプラス面もあるが、あれができる、これができるという技術だけを追い求めているところがある。それで自己肯定感を育てるのではなく、まずは親の愛情で自己肯定感を育てて欲しいという。

「幼稚園、保育園の間は、身体をいっぱい



使って、友達とぶつかりあって遊んで欲しい。人間は4才5才くらいになれば、友達のことを気遣いながらの集団生活や集団行動ができる。仲間って何だろうとその年齢と心が育って、心の柔軟性が作られていく。小学校に上がったなら、勉強するってこういうことなんだ、教科書見て楽しいなって思えると思うんです。基礎になる部分、根っこになる部分を育ててきてあげれば、その時がきたら必ず花が開くんですよ。」

自分勝手ではない「自分は自分」を持つこと

「今親子関係が一番気になるのは、「コミュニケーション能力」が下がってきていること。」

親子間でも本当の気持ち伝えられず、お互い放っておいて欲しいというという感覚になっている。

「育児の悩みも、知人に打ち明ければ、それがマイナス評価になると考えてしまつて話せない。でも、その「評価」は各個人の価値観にもとづいて勝手につけられるものですから、「私は私である」というものを持つていれば大丈夫なはず。それを親にも子にも持つて欲しい。ただ、それが「自分勝手」、極端な個人主義に走ってしまうと問題ですから、持つことはとても難しいことなんですけれど……。」

インタビューでは、育児・教育の現場の

状況とそれに対しての熱い

想いをたくさん語っていた

だいた。興味のある方は、

ブログやFacebookをのぞ

いてみて欲しい。

※インタビュー全文は「草生人

Web」(6月公開予定)で公開

ブログ「ヒトから人へ」：
<http://ameblo.jp/po-ta-ro/>
メールアドレス：
po-ta-ro@db3.so-net.ne.jp

草加の町をデータで見る

草加のスペック

その1 人口

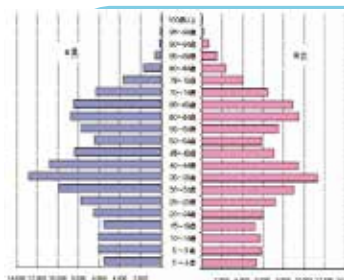
「草加市」はどんなところなのか、公開されている資料や統計から、興味深い情報をピックアップして紹介しようというシリーズです。

第1回は「草加市」の人口から。

●草加市が生まれたの(市制施行年)は昭和33年11月1日。「ALWAYS—三丁目の夕日」の舞台となった年代ですね。その時の人口は約3万5千人。現在は約24万人で、全国の市町村人口ランキングでは94位(全78市)。また、まだ増加傾向にあります。ちなみに埼玉県ではさいたま市が9位でトップ(約123万人)、お隣の川口市は24位の56万人です。

●1平方キロメートルあたりの人口、いわゆる人口密度は約9千人で、23位になります。

●年齢・男女別の棒グラフである人口ピラミッドでは、高い部分が35歳から39歳。日本全体では50歳・60歳が高い「高齢化社会」になっていますが、草加市は働き盛りの年代が一番多い、つまり活力のある市であることがわかります。



総人口：24万4026人
男性：12万4210人
女性：11万9816人
世帯数：10万7093世帯
※2012年4月1日現在

月々想々

編集より

私は草加の生まれではありませんが、子どもが生まれてからずっと草加で暮らしています。一番上は今度大学生になり、私の人生の中で一番長く暮らす街になりました（父の仕事の関係でたびたび引越していました）。

さて、草加で暮らす時間が長くなるにつれ、市民まつり（ふささらまつり）や商店会による催し、アコス前の広場でのコンサート、公民館やコミュニティセンターでの講座など、いろいろな活動が行われていることを知りました。ただ、その情報は、配布・掲示されているちらしや、市の広報誌、それぞれの団体が公開しているWebサイトにあるものの、積極的に探さないとたどり着けない場合が多くあります。実際にWebサイトをじっくり探せば、個々のお店のサイト、各商店街のサイトのほか、有志によるイベント告知、草加のまちマップの配布など、草加で快適に暮らすためのいろいろな情報が手に入ることがわかります。でも、それを手に入れるため

の「入り口」がわかりにくい。みんな草加のためにがんばっているのに、その情報は「知りたい人」に伝わっていない、情報のベース基地が無いように思えたのです。

「草生人」は、そのベース基地を作ろうと考えたのが始まりです。私自身がこの町で快適に楽しく暮らしていきたい、そのための情報を集めて形にしようとして……。

まだ小さな芽が出ようとしているだけですが、これからどのように大きな「木」になっていくか……皆様のご協力が必要と考えています。「草生人」への応援をよろしくお願いいたします。

名刺に使用した図案。天使っぽいキャラクターは「草天使」とある知り合いの落書きからいただきました。いろいろなことを斜めちょっと上からしっかり見つめ、わかりやすくみなさんに伝えようという思いを（多少無理矢理）込めています。



ご意見・ご感想等、「読んだ」だけでもけっこうですので、メールをいただけると嬉しいです
asymos_info@asymos.com

広告スペース



草加風景・©2012 AYUKO

